



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occ.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫 ■ 「クリスマスの感動」
 この十二月二十三日にクリスマス礼拝があり、三人の姉妹方、米林真理姉、奥地友江姉、斎藤智子姉たちの入会式があった。さらには池田典子姉のお証しがあり、癌摘出のオペの後、術部のバイオプシーの結果が出て、それがネガティブだったというのだ。そのような結果は百人に一人の割合だという。心から主に感謝をしますというお話であった。また高木哲也(ご夫妻が2年ぶりに礼拝に見えられ、それまでの経過をお話してください、またミセスの看護を心から感謝しておられた。その途中で彼は言葉が詰まってしまい、それがまた私たちの涙を誘うことにもなった。実に盛りだくさんの礼拝であり、クリスマスに相応しいものであった。その後の二階での「聖書の学び」が私の担当であった。
 その時は、第二コリント書の最後にある十三章13節のパウロの言葉について話していた。そこは礼拝の終わりの祝祷でよく用いられる箇所であるが、そこでもう一つ、「よく祝祷で用いられるものが旧約に一つありますが、それはどこにありますか？」という質問をした。そこで付け加えたのは、「今日の礼拝で、OB先生がそこから祝祷してくださいましたが、皆さん、一体どこですか?」。しばらくした後で、ある姉妹が手をあげて「分かりました」ときた。そこで私は、「他に知っている方はありませんか?」と尋ねると、誰もいない。そこで「じゃあ、今日、その祝祷を下されたご本人にお伺いしましょう」と言ったところ、先生は次のように応えたのだった。「先ほども礼拝で、日本から来られた方から、『今日の祝祷はどの聖書箇所からでしょうか?』と質問されたのですが、私は『覚えていません』と応えたんです。だから分かりません」と来るではないか。実は私はその先生の応えに感動したのである。牧師が肝心の祝祷の聖書の箇所が分からないという事実を淡々とした態度で応答した姿に、私にはない先生の謙遜さを見たからである。もし私が先生の立場だったら、何とかつくるって弁解してみたこと言ったであろうにと思うと、私はますます先生を尊敬することが出来て嬉しかったのである。その日は実に爽やかな午後であった。
 聖書に「みな互に謙遜を身につけなさい」(1ペテロ五・5)とある。確かに知識があることは悪くはないが、それは人を誇らせる。それよりも大切なことは自分を飾りもしなければ、弁解もしない、ありのままの自分の姿である。それが感動を呼び起こすのである。謙遜とは、そういう先生のような態度を指すのではあるまいか。この日の体験は私への最高のクリスマスの贈り物となった。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。
 私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

